

当別町上下水道事業経営戦略（下水道事業）概要

1 背景・計画期間

将来にわたって安定的に事業を継続していくために、中長期的な視野に立った経営の投資・財政計画である「当別町下水道事業経営戦略（以下「経営戦略」という。）」を策定し、計画的に施設、財務、組織及び人材等の経営基盤強化を図ります。

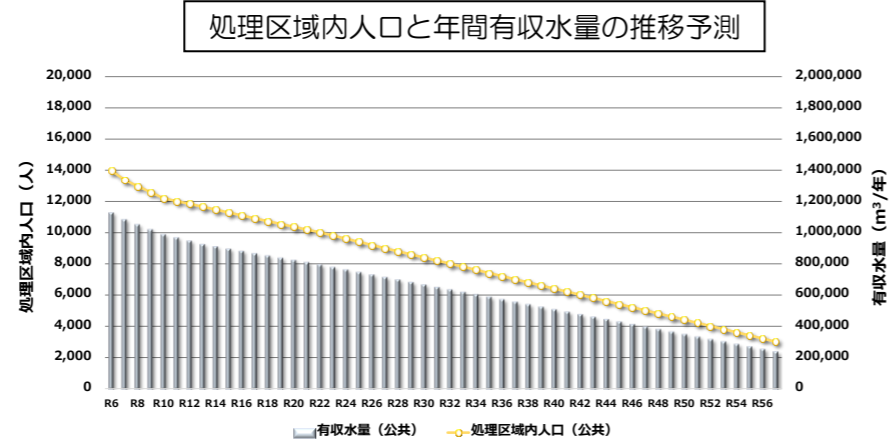
本経営戦略では、計画期間を令和8年度から令和17年度までの10年間とします。

なお、下水道事業においては、国土交通省より、社会資本整備総合交付金等の交付要件を満たすための経営戦略に記載すべきポイントとして以下4点が挙げられており、本経営戦略にて反映することとしています。

- ①：経営健全化に関する定量的な業績指標及び目標年限が記載されているか
- ②：経費回収率向上に向け、収入増加のための具体的取組及び実施時期が記載されているか
- ③：経費回収率向上に向け、支出削減のための具体的取組及び実施時期が記載されているか
- ④：収支構造の更なる適正化に向けて、少なくとも5年に1度の頻度で、定期的に検証・見直しを行う旨が記載されているか

2 将来の事業環境

水道事業と同様に、処理区域内人口の減少に伴い有収水量は減少し、使用料収入も減少する見込みです。また、污水管渠（きよ）等の施設については、耐用年数を迎える施設が増加していくため、下水道事業の運営はより厳しくなっていくことが見込まれます。



3 経営の基本方針

3つの基本目標を掲げ、各施策を推進します。

- 1 安全：適正処理、施設の整備
- 2 強靱：施設の老朽化対策・強靱化
- 3 持続：事業の健全運営

○投資に関する目標

ストックマネジメント計画に基づく投資額の平準化

※ スtockマネジメント計画：長期的な視点で下水道施設全体の今後の老朽化の進展状況を考慮し、優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査・修繕・改善を実施し、施設管理を最適化するための計画

○財源に関する目標

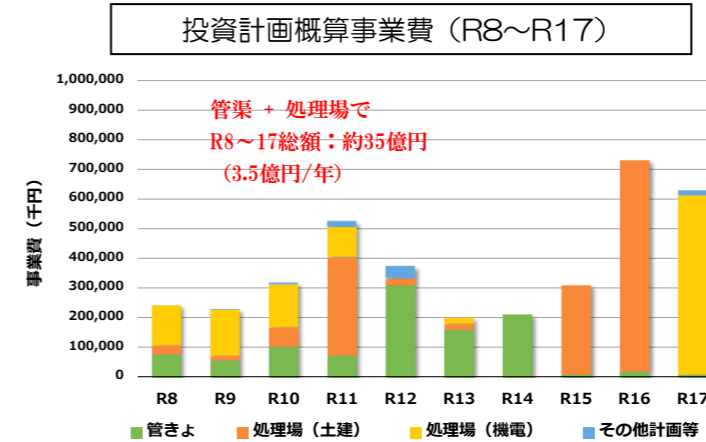
- ・経費回収率：計画期間最終年度時点（令和17年度末）で令和6年度実績値より上昇
- ・内部留保資金：計画期間内に資金ショートしないように一定の水準を維持する

4 投資・財政計画

●投資計画

施設の耐震化、老朽化への対策として、ストックマネジメント計画に基づき、必要な更新を計画しています。

- ・管渠：污水管の更新、西部ポンプ場の耐震化工事
- ・処理場：自家発棟、新管理棟、沈砂池ポンプ棟工事等の土工事及び機電設備更新工事



●財政計画

・使用料収入

使用料収入の減少が避けられないため、令和17年度までに段階的に使用料改定による増収を見込んでいます。(R10：28%、R14：29%)
なお、令和12年度に経営戦略の中間見直しを行い、その後の料金改定について検討を行います。

・企業債及び国庫補助金

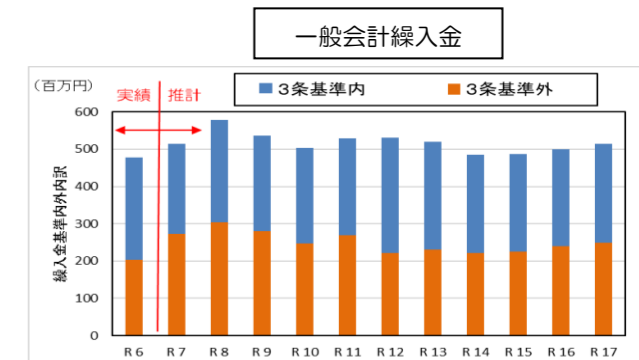
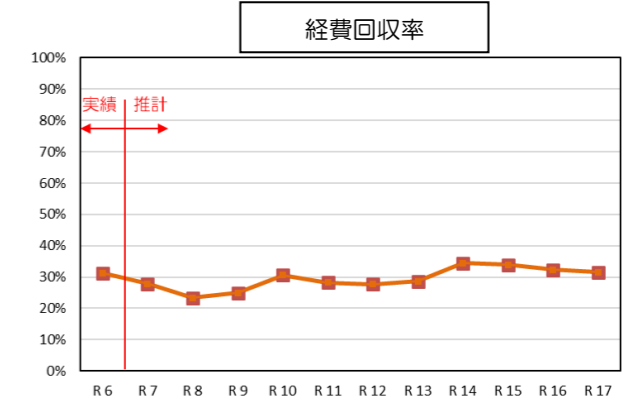
企業債及び国庫補助金は投資計画に応じた所要金額の確保に努めます。

・繰入金

基準内の繰入については、総務省が定める繰入基準に基づき、繰入金の確保に努めます。また、使用料改定率の抑制のため、一般会計から基準外の繰入を行い、収支の均衡を図ります。

※ 基準内繰入：総務省が定める、公営企業会計の経営安定化のために一般会計から資金を繰り入れる際の基準。雨水処理に要する経費等が該当。

※ 基準外繰入：繰入基準に基づかない、経営安定化のために必要な繰入金



5 経営戦略の事後検証、更新等

毎年経営戦略における収支計画と決算値との比較を行い、その整合性を検証します。5年後の令和12年度に中間見直しを行う予定としていますが、毎年の検証の結果、乖離が大きい場合は経営戦略の見直しを前倒しで行います。また、本経営戦略の計画期間最終年度（令和17年度）に再度見直しを行い、次期経営戦略を策定する方針としています。